

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成29年11月10日

【四半期会計期間】 第20期第2四半期(自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日)

【会社名】 株式会社 テイクアンドギヴ・ニーズ

【英訳名】 TAKE AND GIVE . NEEDS Co. , Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 岩瀬 賢治

【本店の所在の場所】 東京都品川区東品川二丁目3番12号

【電話番号】 03-3471-6806

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 谷田 昌広

【最寄りの連絡場所】 東京都品川区東品川二丁目3番12号

【電話番号】 03-3471-6806

【事務連絡者氏名】 取締役 管理本部長 谷田 昌広

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第2四半期 連結累計期間	第20期 第2四半期 連結累計期間	第19期
会計期間	自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日	自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日
売上高 (百万円)	28,852	31,082	60,186
経常利益 (百万円)	282	491	2,100
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (百万円)	35	36	360
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	436	26	295
純資産額 (百万円)	19,754	20,258	20,485
総資産額 (百万円)	50,373	56,263	52,176
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	2.77	2.82	27.85
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	38.9	35.6	38.9
営業活動による キャッシュ・フロー (百万円)	871	836	4,130
投資活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,574	5,217	5,155
財務活動による キャッシュ・フロー (百万円)	1,822	3,814	2,092
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (百万円)	4,704	4,144	4,704

回次	第19期 第2四半期 連結会計期間	第20期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成28年7月1日 至 平成28年9月30日	自 平成29年7月1日 至 平成29年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	1.76	33.84

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第19期第2四半期連結累計期間及び第19期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。第20期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社TRUNK(国内ウェディング事業)及び株式会社アノカンパニー(その他)の重要性が増したため連結の範囲に含めております。また、当第2四半期連結会計期間より株式会社Dressmore(国内ウェディング事業)を新設により連結の範囲に含めております。

また、天愿結婚慶(上海)有限公司(海外・リゾートウェディング事業)は、清算終了により連結の範囲から除いております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ(当社及び連結子会社)が判断したものであります。

(1) 業績の状況

「人の心を、人生を豊かにする」を企業理念として掲げる当社グループは、挙式披露宴会場を「一軒家貸切」とし、「一顧客一担当制」という独自の仕組みによって、一組のお客様のために最高の1日を創り上げる「オリジナルウェディング」にこだわった、クオリティ重視型のハウスウェディング事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間は、国内ウェディング事業と海外・リゾートウェディングの件数増、またTRUNK(HOTEL)の稼働により、前年同四半期比増収増益となりました。

国内主力事業強化の取組みとして、店舗リニューアルを計画通り15店舗で実施いたしました。また、東京丸の内にもドレスショップ直営店3店舗目を開業し、ドレスの内製化比率を高めることにより、売上総利益率が改善いたしました。海外・リゾートウェディング事業では、拠点数の増加や販売拠点の拡大などにより、売上は好調に推移しておりますが、新店開業費用により前年同四半期比で減益となっております。

以上の結果、売上高310億82百万円(前年同四半期比7.7%増)営業利益6億83百万円(前年同四半期比19.0%増)、経常利益4億91百万円(前年同四半期比74.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益36百万円(前年同四半期比1.9%増)となりました。

なお、事業別の状況は以下のとおりであります。

国内ウェディング事業

当社グループの主力事業である国内ウェディング事業におきましては、TRUNK(HOTEL)の開業や店舗リニューアル効果により、直営店での取扱組数は前年同四半期と比較して188件増となり、平均人数の増加により挙式披露宴単価も上昇いたしました。提携ホテルとの契約期間満了等により、コンサルティング型は取扱組数が前年同四半期比で283件減となりました。この結果、売上高251億62百万円（前年同四半期比6.0%増）、営業利益14億54百万円（前年同四半期比18.9%増）となりました。

海外・リゾートウェディング事業

海外・リゾートウェディング事業におきましては、沖縄、ハワイ、台湾の新規施設が稼働したことにより、取扱組数が前年同四半期比で14.5%増加し、ドレスの内製化も堅調に推移し、売上総利益率の改善に寄与しました。一方開業初期費用が発生したことにより、売上高51億42百万円（前年同四半期比15.4%増）、営業利益2億39百万円（前年同四半期比16.9%減）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローが8億36百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが52億17百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが38億14百万円の収入となり、この結果、当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、41億44百万円（前年同四半期は47億4百万円）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は8億36百万円（前年同四半期は8億71百万円の収入）となりました。これは主に、減価償却費14億30百万円、敷金及び保証金のリース料相殺額1億39百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は52億17百万円（前年同四半期は15億74百万円の支出）となりました。これは主に、新規出店等に伴う有形固定資産の取得による支出47億99百万円、敷金及び保証金の差入による支出3億72百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は38億14百万円（前年同四半期は18億22百万円の収入）となりました。これは主に、長期借入れによる収入43億54百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,912,000
計	24,912,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成29年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成29年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,059,330	13,059,330	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は100株で あります。
計	13,059,330	13,059,330		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成29年7月1日～ 平成29年9月30日		13,059,330		5,264		5,210

(6) 【大株主の状況】

平成29年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
野尻佳孝	東京都目黒区	2,460,950	18.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1-8-11	1,119,500	8.57
株式会社東京ウエルズ	東京都大田区北馬込2-28-1	1,045,970	8.01
株式会社ユニマットライフ	東京都港区南青山2-12-14	543,200	4.16
ウエルズ通商株式会社	東京都大田区北馬込2-28-1	450,000	3.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	329,800	2.53
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	PALISADES WEST 6300, BEECAVE ROAD BUILDING ONE AUSTIN TX 78746 US (東京都新宿区新宿6-27-30)	305,390	2.34
資産管理サービス信託銀行株式会社(証券投資信託口)	東京都中央区晴海1-8-12	257,000	1.97
MSIP CLIENT SECURITIES (常任代理人 モルガン・スタンレー MUFG証券株式会社)	25 CABOT SQUARE, CANARY WHARF, LONDON E14 4QA, U.K. (東京都千代田区大手町1-9-7)	196,800	1.51
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	5TH FLOOR, TRINITY TOWER 9, THOMAS MORE STREET LONDON, E1W 1YT, UNITED KINGDOM (東京都港区港南2-15-1)	191,010	1.46
計		6,899,620	52.83

(注) 1 信託銀行の信託業務に係る株式数については、当社として網羅的に把握することができないため、株主名簿上の名義での所有株式数を記載しております。

2 平成29年6月21日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、大和証券投資信託委託株式会社及び大和証券株式会社が平成29年6月15日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として実質所有株式数の確認ができません。当該大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数(株)	株券等保有 割合(%)
大和証券投資信託委託株式会社	東京都千代田区丸の内1-9-1	821,800	6.29
大和証券株式会社	東京都千代田区丸の内1-9-1	77,800	0.60

3 平成29年7月7日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、野村証券株式会社及びNOMURA INTERNATIONAL PLC及び野村アセットマネジメント株式会社が平成29年6月30日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として実質所有株式数の確認ができません。当該大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

氏名又は名称	住所	保有株券等 の数(株)	株券等保有 割合(%)
野村証券株式会社	東京都中央区日本橋1-9-1	-710	-0.01
NOMURA INTERNATIONAL PLC	1 Angel Lane, London EC4R 3AB, United Kingdom	72,080	0.55
野村アセットマネジメント株式会社	東京都中央区日本橋1-12-1	459,870	3.52

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成29年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 105,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,781,000	127,810	
単元未満株式	普通株式 173,330		
発行済株式総数	13,059,330		
総株主の議決権		127,810	

【自己株式等】

平成29年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社テイクアンドギヴ・ ニーズ	東京都品川区東品川 2 - 3 - 12	105,000		105,000	0.80
計		105,000		105,000	0.80

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成29年7月1日から平成29年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成29年4月1日から平成29年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,918	4,357
売掛金	686	978
営業貸付金	2,150	2,658
商品	178	194
貯蔵品	28	45
前払費用	840	899
その他	893	1,500
貸倒引当金	52	50
流動資産合計	9,643	10,583
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,549	33,309
減価償却累計額及び減損損失累計額	13,975	14,696
建物及び構築物(純額)	15,573	18,613
機械装置及び運搬具	167	177
減価償却累計額及び減損損失累計額	153	157
機械装置及び運搬具(純額)	13	19
工具、器具及び備品	4,890	5,777
減価償却累計額及び減損損失累計額	3,862	4,180
工具、器具及び備品(純額)	1,027	1,597
土地	10,894	10,903
リース資産	1,080	4,428
減価償却累計額及び減損損失累計額	577	701
リース資産(純額)	503	3,727
建設仮勘定	3,730	169
有形固定資産合計	31,743	35,030
無形固定資産		
のれん	169	134
その他	973	842
無形固定資産合計	1,143	976
投資その他の資産		
投資有価証券	31	31
関係会社株式	17	-
長期貸付金	444	407
長期前払費用	360	321
敷金及び保証金	6,714	6,932
その他	2,238	2,240
貸倒引当金	159	259
投資その他の資産合計	9,647	9,673
固定資産合計	42,533	45,680
資産合計	52,176	56,263

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,484	2,629
短期借入金	800	1,350
1年内返済予定の長期借入金	6,211	5,032
1年内償還予定の社債	100	50
未払金	2,378	2,004
未払法人税等	697	463
賞与引当金	523	462
店舗閉鎖損失引当金	-	72
その他	3,314	3,324
流動負債合計	16,510	15,389
固定負債		
長期借入金	12,422	14,015
長期リース資産減損勘定	227	188
長期リース債務	459	4,008
資産除去債務	1,243	1,249
その他	826	1,154
固定負債合計	15,180	20,615
負債合計	31,690	36,005
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,264	5,264
資本剰余金	5,208	5,208
利益剰余金	9,779	9,627
自己株式	214	214
株主資本合計	20,037	19,885
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	35	27
為替換算調整勘定	209	131
その他の包括利益累計額合計	244	158
新株予約権	-	7
非支配株主持分	203	207
純資産合計	20,485	20,258
負債純資産合計	52,176	56,263

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	28,852	31,082
売上原価	11,715	12,050
売上総利益	17,137	19,032
販売費及び一般管理費	16,562	18,349
営業利益	574	683
営業外収益		
受取利息	3	2
その他	12	15
営業外収益合計	16	17
営業外費用		
支払利息	104	191
支払手数料	2	-
為替差損	152	12
その他	48	5
営業外費用合計	307	210
経常利益	282	491
特別利益		
関係会社清算益	-	31
特別利益合計	-	31
特別損失		
固定資産除却損	3	76
店舗閉鎖損失引当金繰入額	-	72
貸倒引当金繰入額	-	99
特別損失合計	3	247
税金等調整前四半期純利益	278	275
法人税等合計	239	232
四半期純利益	38	42
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	35	36

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	38	42
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
繰延ヘッジ損益	234	8
為替換算調整勘定	241	61
その他の包括利益合計	475	69
四半期包括利益	436	26
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	27
非支配株主に係る四半期包括利益	34	1

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	278	275
減価償却費	1,085	1,430
のれん償却額	79	35
敷金及び保証金のリース料相殺額	226	139
賞与引当金の増減額(は減少)	27	61
貸倒引当金の増減額(は減少)	10	97
関係会社清算損益(は益)	-	31
受取利息及び受取配当金	3	2
支払利息	104	191
固定資産除却損	3	76
売上債権の増減額(は増加)	215	292
営業貸付金の増減額(は増加)	109	507
仕入債務の増減額(は減少)	185	149
前払費用の増減額(は増加)	34	73
未払金の増減額(は減少)	558	42
前受金の増減額(は減少)	217	295
その他	148	223
小計	1,144	1,455
利息及び配当金の受取額	1	2
店舗閉鎖損失の支払額	6	-
利息の支払額	88	206
法人税等の支払額又は還付額(は支払)	179	415
営業活動によるキャッシュ・フロー	871	836
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	1,549	4,799
ソフトウェアの取得による支出	62	81
子会社の清算による収入	21	-
貸付金の回収による収入	47	48
敷金及び保証金の差入による支出	47	372
敷金及び保証金の回収による収入	16	9
預り保証金の返還による支出	-	21
その他	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,574	5,217

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（は減少）	370	550
長期借入れによる収入	4,856	4,354
長期借入金の返済による支出	2,354	3,940
社債の償還による支出	50	50
自己株式の取得による支出	0	0
新株予約権の発行による収入	-	7
セール・アンド・リースバックによる収入	-	3,284
リース債務の返済による支出	64	196
配当金の支払額	193	193
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,822	3,814
現金及び現金同等物に係る換算差額	73	18
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,045	584
現金及び現金同等物の期首残高	3,658	4,704
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額（は減少）	-	24
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,704	4,144

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(連結の範囲の変更)

第1四半期連結会計期間より以下の会社の重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

株式会社TRUNK

株式会社アンドカンパニー

当第2四半期連結会計期間より以下の会社を新設したため、連結の範囲に含めております。

株式会社Dressmore

第1四半期連結会計期間より以下の会社を清算終了により連結の範囲から除外しております。

天愿結婚慶(上海)有限公司

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
給与手当	4,398 百万円	4,615 百万円
賞与引当金繰入額	475	462

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
現金及び預金勘定	4,917百万円	4,357百万円
預入期間が3か月を超える定期預金	-	-
使途制限付き信託預金	213	213
現金及び現金同等物	4,704	4,144

(株主資本等関係)

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成28年5月27日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成28年3月31日	平成28年6月15日	利益剰余金

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり 配当額	基準日	効力発生日	配当の原資
平成29年5月26日 取締役会	普通株式	194百万円	15円	平成29年3月31日	平成29年6月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	23,743	4,455	28,199	652	28,852
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	10	34	45	225	271
計	23,754	4,490	28,244	878	29,123
セグメント利益	1,223	287	1,511	82	1,594

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,511
「その他」の区分の利益(百万円)	82
セグメント間取引消去(百万円)	1
全社費用(注)(百万円)	1,021
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	574

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			その他 (百万円)(注)	合計 (百万円)
	国内ウェディング 事業 (百万円)	海外・リゾート ウェディング事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
a. 外部顧客に対する売上高	25,162	5,142	30,305	777	31,082
b. セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	41	57	300	357
計	25,177	5,184	30,362	1,077	31,440
セグメント利益	1,454	239	1,693	75	1,769

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、金融・クレジット事業、旅行事業、保育事業等を含んでおります。

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額
報告セグメント計(百万円)	1,693
「その他」の区分の利益(百万円)	75
セグメント間取引消去(百万円)	2
全社費用(注)(百万円)	1,088
四半期連結損益計算書の営業利益(百万円)	683

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	2円77銭	2円82銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(百万円)	35	36
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(百万円)	35	36
普通株式の期中平均株式数(株)	12,955,642	12,954,597

(注) 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成29年11月10日

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	坂	井	知	倫	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	秋	山	高	広	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	成	田	孝	行	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの平成29年4月1日から平成30年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成29年7月1日から平成29年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ及び連結子会社の平成29年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。